

目指すべき学校像	国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。
----------	--

達成度	A	ほぼ達成 (80%以上)
	B	概ね達成 (60%以上)
	C	変化が見られる (40%以上)
	D	不十分 (40%未満)

重点目標	A	学校の教育理念や歴史を理解し、学校に誇りを持つ。
	B	自らの進路を主体的に考え、学習に生かすことができる。
	C	生徒にとってかけがえのない学校生活を充実させる。
	D	教育環境に対し、常に最高の教育環境を維持する。
	E	国際社会を見据え、韓国人としての矜持や国語（韓国語）を学ぶ礎を築く。

達成度は生徒アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の数値（%）の合計で表す。

		学 校 評 価				年 度 評 価		
重点目標	設問番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
A	1, 2, 3	・昨年度、設問20「記念講話などで話される内容を理解できる。」に対する肯定的な回答が41%にとどまった。 ・本校が創立にいたった背景や、歴史的な経緯を知ったうえで、それに基づいた教育理念・目標を理解することは、より有意義な学校生活につながり今後の成長を促す大きな要因であるので、効果的で継続的な指導・取組みが必要とされる状況である。	生徒自身が学校創立の背景を理解し、誇りを感じる事ができる取組みの実施。	・生徒が毎日必ず通る展示ギャラリーで本校の歴史に関連した展示内容を充実。 ・体育祭において歴史的な意義のある「応援歌」を斉唱。(体育祭縮小実施の為不可となった。) ・創立記念講話においては、校長による講話を通し実施創立当時の状況や苦難を乗り越えた経緯を生徒たちがより深く理解できる内容で実施。	・「学校に誇りを感じる」生徒が2/3を超える。 ・「学校設立」背景を理解する生徒が2/3を超える。 ・本校が目指す生徒像を理解する生徒が2/3を超える。	設問1, 2, 3の肯定的な回答は 設問1：79% 設問2：78% 設問3：60% 平均72.3%となり、昨年度より大きく達成状況向上した。	B+	・本校の教育を受け巣立っていった卒業生による講演や交流などもより一層取り入れ、本校で学ぶことの意義を認識できる機会を増やす。(継続) ・幼稚園から高校までの一貫校として取り組める体育祭や文芸祭等の行事教育を通し、本校の教育理念・目標の理解の一助となるような指導を強化する。(継続) ・本校で学ぶことの意義や教育内容への理解を促す取組み。(様々な記念講話の内容の充実や理解促進の為の取組み。)
B	4, 5, 6	・関連項目の昨年の肯定的な回答の平均が83%であり高い水準となっている。 ・生徒たちが理解しやすい授業の確立・生徒の置かれた状況を把握するための「スコラ」の活用は継続している状態である。	積極的な学習活動への取組み	・IT機器(電子黒板)を活用した授業の推進。(継続) ・日本語韓国語併記による板書、教材準備の推進。(継続) ・学習活動記録手帳「スコラ」の活用方法を生徒に再確認させることにより、自身の学校生活の指標になるように位置づける。(継続) ・新型コロナによる臨時休校中もオンラインでの授業を実施。	・学習活動に関する設問に対し肯定的な回答が2/3を超える。	設問4, 5, 6の肯定的な回答は、 設問4：69% 設問5：69% 設問6：88% 平均75.3%となり、概ね達成している。	B+	・教員相互の授業見学を推進し、教授技術の向上をはかる。(継続) ・効果を上げている要素の一つである「スコラ」の活用を生徒の学習意欲向上に向けてより一層強化する。(継続) ・平素から授業アンケートを実施し、教員の授業の取組みに対する意識の向上を図る。(継続)
C	7, 8, 9, 10, 12	・関連項目の昨年の肯定的な回答の平均が59.5%と低い水準にとどまっていた。 ・行事に対する肯定的な回答は73%と一定の評価ではあったが、「授業は工夫されていてわかりやすい。」「授業のわからないところなどについて質問しやすい。」といった質問に対しての肯定的な回答が58%、57%にとどまっていた。 ・学校教育の柱の1つである行事教育に関しては現状で成果が上がっていると考える。 ・生徒に最も近い担任や教科担当の日常の生徒指導力の向上が生徒の学校生活充実に対して不可欠な部分であるので、より一層の向上が望まれる状態である。	確かな学力の育成と授業改善	・授業改善にかかわる情報の収集と共有 ・IT機器の授業への活用 ・生徒のニーズに応える教育課程の改善 ・少人数制を生かした授業展開の強化 ・日本語韓国語併記による板書、教材準備の推進。	・生徒の授業満足度に関する設問7, 8において肯定的な回答80%以上を目指す。	設問7, 8の肯定的な回答は 設問7：61% 設問8：71% 平均66%となり、昨年度より向上し、概ね達成された状況となった。	B	・教員が教授法及び教材作成活用法などを共有出来るよう、積極的に教員間の授業見学や教科内の会議を行う。(継続) ・Chromebookの導入により、自主性・多様性・協働性を持った学びの実現につなげる授業を展開する。 ・教員の研修への積極的な参加を推進する。(継続) ・科目に応じた習熟度別クラス編成の導入(継続) ・言語能力の向上の為の日常的な指導を取り入れる ・教員の生徒指導に関して意識の持ち方を改革し、生徒の人格や人権を尊重する意識を高めるとともに、生徒が心を開ける環境を作る。(継続) ・保護者との連絡をより密にし状況に応じては、家庭訪問を積極的に行う。(継続) ・悩みを抱える生徒が自発的に教員に相談をすることが難しい状況があると思われるので、放課後の時間等に生徒が利用できる相談室を設置する。 ・学年担任制度を導入し、複数の教員による見守り体制を新規構築。(継続)
			安心して通える学校生活づくりを目指す	・学校や教員に対する信頼を高める取組みの実施。 ・教員の生徒への積極的な声掛け。 ・スクールカウンセラーの助力を強化する。 ・登校指導時の生徒の見守りにより、早期に変化を見つける取組みの実施。	・設問9の肯定的な回答の割合80%を目指す。	設問9の肯定的な回答は52%となり、昨年とほぼ同じくらいの達成度にとどまった。		
			学校行事を通じた教育の充実	・従来行事の精査と強化(弁論大会の生徒の自主運営等) ・姉妹校との交流(交換留学等)の強化	・設問10・12の肯定的な回答の割合80%を目指す。	設問10, 12の肯定的な回答は 設問10：77% 設問12：79% 平均78%となり、概ね達成している。		
D	11	・生徒たちの環境維持に対する意識が平均的に高く、施設や設備などは良い状態で維持できている。ただ、故意に施設を乱暴に扱ったりする生徒が皆無になっているわけではない。	美化意識の向上から教育環境の健全化と安全な学校づくりを目指す。	・校内美化状況の確認、点検の徹底。 ・清掃活動奨励の強化。(美化コンテストの実施等) ・清掃用具の点検と充実。 ・生徒会の美化委員による自主的な美化意識の向上。	・設問11の肯定的な回答の割合80%を目指す。	設問11の肯定的な回答は87%となり、目標としている達成度に到達した。 日ごろの清掃活動から生徒たちが「自分たちの学校」として、本校に愛着を感じていることが見受けられる。	B+	・全般的な方案は継続する方針とし、さらなる教育効果向上を模索する。 ・教員主導による意識向上ではなく、生徒の自主的な働きかけにより意識向上が出来るよう、生徒会との連携を深める。(継続)
E	13, 14, 15	本校は民族学校として、その教育の柱に言語教育である韓国語教育を掲げている。英語を含め韓国語の学習は国際社会に通じる道であることは生徒達も認識している。生徒のニーズに答えるべく高い水準の韓国語教育を実践してきている。言語の習得を通じ生徒たちが自信を深めることは、学校教育全体への良い影響をもたらすものと考えられる。	韓国語によるコミュニケーション力の向上	・授業の進行を韓国語で行う割合を出来るだけ高めていく。 ・韓国語の弁論大会、スピーチ大会へのエントリーを奨励する。 ・協定校との交換留学等への参加を奨励する。 ・日常の学校生活において、韓国語を出来るだけ使うことを意識付ける。	・設問13～15の肯定的な回答の割合80%を目指す。	設問13～15の肯定的な回答は 設問13：73% 設問14：80% 設問15：56% 平均69.7%となった。 概ねの達成ではあるが、新型コロナ禍により韓国との交流が制限された影響が出ている部分もあると憂がられる。	B	・コミュニケーション力向上に必修の単語力向上を期し、教科担当と担任団の連携の上で校内韓国語単語試験の合格率を向上させる取組。(継続) ・単語試験を何時でも何処でも受けることのできるオンラインシステムを導入し自主的に取り組む生徒の更なる実力向上を目指す。 ・日常の学校生活において教員が韓国語を使いながら指導する機会を増やす。(継続) ・韓国の協定校との交換留学等への参加を更にうながし、実際に韓国語を使う機会を増やす。(継続) ・教員全員の韓国語能力の底上げを図る。(継続) ・ICTを活用し、オンラインでの外国の生徒との交流を実施。